

中津川市行財政改革推進プラン
令和 2 年度の進捗状況

■行財政改革推進プラン（令和2～5年度）取り組み項目の実績【令和2年度】

大項目	中項目	小項目	細項目	令和2年度実績			
				活動	成果	成果指標	評価
1. 財政改革に関する項目							
1. 歳入							
1. 自主財源の確保							
			1. ※ 金銭債権収入確保のための組織的対応				—
			2. ふるさと納税の活用	電子決済導入 受付サイト2増	458,675千円	目標金額	☀️
2. 受益者負担の適正化							
			1. ※ 施設使用料減免の見直し及び料金設定の見直し(文化スポーツ施設)				—
3. 市債の計画的発行							
			1. 有利な地方債の活用と計画的な発行	市債の計画的発行	34.7億円	基準設定	☀️
4. 市有財産の有効活用							
			1. 市保有土地(未利用等)の売却や貸付	53件売却	63,930千円	目標金額	☀️
2. 歳出							
1. 施設の統廃合とコストの削減							
			1. 市有財産(施設)運用管理マスタープランに基づく施設維持管理費等の削減 ・維持管理経費の圧縮額	13施設統廃合	17,600千円	目標金額	☀️
			2. 民間活力の積極的な活用 ・指定管理者制度の評価基準の設定 ・PPP/PFI手法の採用を検討するための規程の策定	基準の更新 未実施	基準の設定 未策定	行動	☂️
2. 公営企業等の経営健全化							
			1. 特別会計及び企業会計のコスト削減による繰出金の削減 ・繰出金	経費の削減	64.4億円	基準設定	☀️
3. 公債費の適正管理							
			1. 市債の計画的発行 ・公債費 ・実質公債費比率	公債費の適正管理	37.6億円 7.7%	基準設定	☀️
4. その他							
			1. 財政調整基金の残高維持 ・基金残高	実質収支の確保	43.3億円	基準設定	☀️
2. 行政改革に関する項目							
1. 事務の効率化							
			1. ICT(RPA等)を活用した事務の効率化等の実施 ・各部署にRPA知識を持つ職員を育成 ・RPAの導入業務の洗い出し、検証	勉強会開催 30業務検証	5人参加 9業務導入	行動	☀️
			2. 事務改善の推進 ・人事評価システム開発 ・マイナンバー独自利用事務の洗い出し	R3.3開発 会議開催	19業務検討 2業務導入決定	行動	☀️
			3. 組織及び出先事務所の見直し ・所管業務の一部見直し ・各所属人員の見直し	人事異動	業務集約・整理 4.2.3月実施	行動	☀️
2. 職員力の向上							
			1. 職員の人材育成と意欲向上 ※ 意欲と能力を持った管理・監督職の登用、繰上げ受験導入	昇格試験3回	受験者数76人	行動	☀️
			2. 適正な事務執行の確保 ※ 弁護士による法律相談の実施 ※ 内部統制制度に向けたリスク管理対策の検討	12回 1県3市の取組確認	56件 4件	行動	☀️

※「1-1-1-1」及び「1-1-2-1」は、令和2年度の取り組みを凍結する。

「2-2-1」及び「2-2-2」については、取組内容の「研修」を、新型コロナウイルス感染症を考慮し、中止等とする。

「1-1-1-1」及び「1-1-1-2」は、令和2年度末での完了項目とする。

☀️ 担当課の目標を達成

☂️ 担当課の目標を未達成